

《研究テーマ》 園運営の要としての主任の役割
～役割を果たすための力量を身に付ける～

1 研究目標

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、新しい生活様式からコロナ禍以前の園生活に戻つつある。今後においても、子供たちを取り巻く環境は変化し、園が抱える問題や課題はさらに複雑になることが予想される。このような状況を踏まえ、幼児一人一人の実態を把握し、浜松市の幼児教育の取組の方向性をしっかりと捉え、幼稚園教育における育みたい資質や能力の3つの柱「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力などの基礎」「学びに向かう力、人間性など」を幼児期に遊びを通して総合的な指導を行い、小学校への接続を見据えていきたいと考える。

昨年度は、それぞれの立場や各自の学びたい視点を窓口とし、自己課題をもち、活発な意見交換が行われていた。第3回には、全体協議で質疑応答を行うことにより、様々な視点についての意見や考えを知り、協議をより深めることができた。フリー主任や発達支援の部屋専任教諭、新任者育成教諭など、主任の立場も多様化している。それぞれの立場に応じた資質や能力などの向上を図るための研究のあり方が必要であると考えます。

そこで、本年度も研究テーマを「園運営の要としての主任の役割～役割を果たすための力量を身に付ける～」とし、主任として園児や保護者、地域、職員構成などの自園の実態を把握する力や確かな幼児理解を基に一人一人の職員へ適切な助言をする力、小学校とのつながりを意識した保育、職員集団の要として園運営を円滑に進めるためのそれぞれの立場に応じた主任としての力量を身に付けられるよう、研修を積み上げていきたい。

2 研究内容

- (1) それぞれの立場や園の実状に合わせた研究の視点を窓口として、子供の育ちにつながる具体的な保育実践や職員への助言方法について協議をする。
- (2) 園の要としてリードしていく主任としての役割について協議し、力量を身に付ける。

3 研究方法

- (1) グループ構成について
 - ① 各園の園長に次ぐ立場の主任（1名）でグループ構成をする。
 - ② 園長に次ぐ立場の主任は、主任としての経験年数や研修したい視点について、希望調査を行う。希望調査は、第1～3希望を記入する。
＜選択する視点＞
 - ア 教育課程の編成
 - イ 少人数園、複式学級の保育の充実
 - ウ 防災や安全指導による危機管理
 - エ 保育推進のリーダーとしての発信力や助言力の育成
 - オ 「幼児期に育てたい力」や幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」(10の姿)を活用した園内研修の推進
 - カ 幼小の円滑な接続
 - キ 家庭への発信の仕方や保護者対応
 - ク 園運営が円滑に進むためのマネジメント
 - ケ 発達支援教育の理解と保育の充実
 - ③ 園長に次ぐ立場の主任は、希望調査後、主任班1、主任班2に分け、必ず同じ視点のグループがあるように編成をする。
 - ④ 発達支援の部屋専任教諭も同様に主任班に所属し、発達支援教育の理解を深めるために単独でグループを構成する。
 - ⑤ 各グループで司会、記録を決める。司会、記録は、3回同じでも、毎回変更してもよい。

(2) グループ協議について

各グループで研究の視点の中の何を学びたいかを司会者を中心に具体化し、話し合いの焦点を絞る。視点については、3回同じでも毎回変更してもよい。資料は、各グループで必要に応じて用意する。

① 第1回

- 自己紹介やグループの視点について方向性（研究したい内容）を、司会者中心に話し合い、共通理解を図る。

② 第2回

- グループで研究したい内容に沿った実践について協議する。1学期の取組を振り返り、自己課題と方策に対する成果、課題、今後に向けた手立てについて話し合う。

③ 第3回

- グループで研究したい内容に沿った実践について協議する。2学期の取組から、自己課題と方策に対する成果、課題、今後に向けた手立てについて話し合う。発達支援の部屋専任教諭以外のグループは、他のグループの意見を聞きたいことについても意見をまとめる。
- 協議の途中に同じ視点の2つ以上のグループで中間報告を行う。（発達支援の部屋専任教諭は興味のある視点の報告を聞く）
- その後、発達支援の部屋専任教諭のグループの報告を聞く。
- 中間報告を受けて、他のグループからの質問への回答や情報交換などをし、視点について協議を深める。
- グループで今年度の研究に関するまとめをし、次年度につながる協議をする。

(3) 事前研修について

グループの視点に沿った実践について必要な資料を持ち寄る。（全3回）

4 研究計画

回	日時	内容	会場
1	6月5日 (水) 14:15~16:15	1 グループ協議 ・自己紹介やグループの視点について方向性（研究したい内容）を司会者中心に話し合い、共通理解を図る。 ・グループで研究したい内容に基づいた協議 2 助言者御指導	浜松市 教育会館
2	7月26日 (金) 9:15~12:00	1 全体会 ・あいさつ ・講話「園の要としての主任の役割」 講師 静岡県幼児教育サポートチーム 浜松市秋野不矩美術館長 鈴木 英司 氏 2 グループ協議 ・グループで研究したい内容に沿った実践について協議 ・1学期の取組から自己課題と方策に対する成果・課題、 今後に向けた手立ての協議 3 助言者御指導	浜松市 教育会館
3	10月23日 (水) 14:15~16:15	1 グループ協議 ・グループで研究したい内容に沿った実践について協議 ・2学期の取組から自己課題と方策に対する成果・課題、 今後に向けた手立ての協議 ・他のグループの意見を聞きたいことをまとめる 2 全体会 ・同じ視点のグループとの中間報告、質疑応答 ・発達支援の部屋専任教諭の協議報告 ・今年度の研究に関するまとめと次年度につながる協議 ・助言者御指導 (全参加者で2名の助言者による御指導を聞く)	浜松市 教育会館